

安全安心なまちってどんなまち？

防犯青色パトロール

防犯委員が2人1組になり青色回転灯を装着した車両で市内を巡回パトロールする。年間およそ120回×2台のパトロールが市民に安心を与え、犯罪抑止効果をあげている。



うきは市では、安全で安心できる「うきはのまち」を実現するために「うきは市安全・安心まちづくり条例」を制定しています。今回は、安全安心なまちづくりのために地域で取り組まれている活動を紹介します。そして、江南小学校、福富小学校の皆さんの元気なあいさつ運動の様子もお届けします！

ひとり暮らし高齢者等見守りネットワーク

ひとり暮らし高齢者等を孤立させない地域づくりを目指して、地域で声をかけあう日常の見守り活動。民生委員が高齢者の安否や健康状態、困りごとの相談を受けながら、特殊詐欺などの犯罪に遭わないよう見守る。



移動スーパー防犯活動

移動スーパーで地域をまわるとともに、タブレット端末やチラシを使って、防犯を呼びかけ。



消防団警戒巡視活動

市民の安全安心を守るため、月2回、日没後に、分団管内エリアを消防自動車で赤色灯と警鐘による警戒巡視。また、火災予防週間には早朝と夜間に一斉に警戒巡視を行うなど、地域の防火・犯罪抑止に大きく役立っている。



街頭安全通交指導誘導活動

交通指導員が交通安全の日や四季の交通安全県民運動期間等において、児童・生徒の登下校時の安全通交指導誘導を行い、歩行者の安全と、交通事故や犯罪の抑止に効果をあげている。



見守りカメラ・防犯灯

7月には、見守りカメラが新たに千年地区、江南地区に計6台が設置され、子どもたちの登下校を見守っている。防犯灯は夜道を明るく照らし、犯罪抑止に役立っている。



うきは市では近年、人口一人当たりの刑法犯（強盗・窃盗・詐欺・性犯罪等）認知件数が県下でも最少に近い件数で推移しています。あいさつや、高齢者等の見守り活動など、住民の皆さん一人ひとりの行動により、安全で安心できる「うきはのまち」が実現しています。

あいさつ・声かけ活動～江南小・福富小の皆さん～

市外からの来訪者は「うきはを出歩いている子どもたちがよくあいさつをしてくれます」と驚く。あいさつは人や地域をつなぐ役割を果たすが、見知らぬ人へのあいさつは犯罪抑止力としても大きく働いている。



当たり前のことだけど…気になる方もいるのでは？

うきは市には元気にあいさつできる子どもが多い謎

この謎を解明するため、福富小学校の徳永校長先生、福富地区自治協議会の内藤さん、近隣にお住まいの古賀さんにお話を聞きました！

なぜ、うきはの子どもたちは元気にあいさつできるのか…

それは、**地域の方々の積極的なあいさつ・声かけ**がきっかけであると判明しました！これからも、うきはの子どもたちが積極的にあいさつできる子に育つよう、あたたかく見守る地域であり続けましょう。

Interview

うきはにきて初めの頃は、子どもたちが当たり前のようにあいさつする姿に驚きました。自転車通学の中学生でもあいさつをしてくれます。何度も訪れる中で、子どもたちからあいさつの大切さを教えてもらっているように感じ、自分もあいさつをしようという気持ちになります。

上野山さん
関東在住
月2回ほど仕事で来訪

3 広報うきは 2023.12

“あいさつおじさん” 平岡さんって、だあれ？

あいさつボランティア大使を名乗る平岡三光さん。この日（表紙等の写真撮影日）は江南小学校を訪れ、辺りには朝から大きく張りのある声が響いていました。中にはその迫力に圧倒される児童もいました。

平岡さんは母の教えであるあいさつの大切さを子どもたちにも伝え、守り続けています。

